

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	環境影響評価追跡調査費	事業開始年度	昭和53年度	作成責任者		
担当部局庁	総合環境政策局	担当課室	環境影響審査室	室長 山本 昌宏		
会計区分	一般会計	上位政策	環境政策の基盤整備			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	環境影響評価法第23条	関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施段階において環境保全について適切な配慮がなされること。 ・地域特性を踏まえた効果的な環境保全措置が実施されること。 ・アセス法に基づく事後調査等の実態を把握し、整理することで今後のより適切な事後調査の実施に資すること。 					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	環境大臣意見を述べた事業、事後調査やレビューを実施することとされている事業等について、環境保全措置等の実施状況等を確認した結果を踏まえ、特に注目すべき案件について現地調査を行い、科学的に分析・検証するとともに、最新の予測・評価方法、環境保全措置の適用の可能性を検討することにより、当該事業における追加の環境保全措置の提案や、同種の事業におけるより良い環境保全措置の実施等を促す。					
実施状況	<p>【A.環境影響評価終了案件フォローアップ調査(進捗状況調査)】 事後調査報告書を入手済みの案件及びWebサイトから事後調査報告書またはデータの一部をダウンロード可能な案件32件について環境保全措置への取り組み状況等を確認し、7件において現地調査を実施したほか、これまでに提出した道路事業及び発電所事業に係る環境大臣意見のデータベースを作成。</p> <p>【B.環境影響評価終了案件フォローアップ調査(諫早湾干拓事業のフォローアップ調査)】 諫早湾干拓事業について、干拓調整池及び諫早湾等海域の環境保全に関する調査検討、専門家ヒアリング等を実施。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	18	18	14	14	
	執行額	13	13	11		
	執行率	72%	72%	79%		
	総事業費(執行ベース)	13	13	11		
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	文献調査についてはその結果の報告を求め、現地調査に当たっては事前事後に報告を求め、検討会には全て環境省担当官が出席しており、支出先・使途の把握は適切に行われていると考える。 現地調査や専門家による高度な科学的・技術的意見を踏まえて取りまとめた調査検討結果を活用し、事業者に対して環境保全の見地からの助言や意見を述べている。 また、大臣意見のデータベースや事後調査の実施状況等の情報をアセス制度見直しの参考情報としても活用している。				
	見直しの 余地	本業務においては、高い質を確保しながら請負金額を抑えるため総合的に判断する一般競争入札(総合評価落札方式)を採用しており、引き続き予算の効率的な執行に努めていきたい。より効率的な執行が可能となるよう、関連する予算との整理・統合を図る方向で検討する。				
化予 算監 視の 所効 率						
補 記						

環境省
11百万円

【総合評価入札・請負】

A.(株)ブレック研究所
5百万円

環境影響評価終了案件
フォローアップ調査
(進捗状況調査)

【総合評価入札・請負】

B.いであ(株)
6百万円

環境影響評価終了案件
フォローアップ調査(諫早
湾干拓事業のフォロー
アップ調査)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)プレック研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境影響評価終了案件フォローアップ調査費(進捗状況調査)	5			
計		5	計		0
B.いであ(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境影響評価終了案件フォローアップ調査費(諫早湾干拓事業のフォローアップ調査)	6			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0